

令和5年6月13日

18:00~

令和5年度 第2回 道明寺南小学校 学校運営協議会

参加者：(敬称略) 委員：藤本・丸山・中島・丹後・中村・高橋(所長)・後藤・高橋(教頭)

欠席 石川・南坊城

事務局：学校教育課(田中)・生涯学習課(木村・比嘉・阪上)

司会(副会長)

*資料の確認;第2回依頼文・レジュメ・資料①~③

1.はじめに

(1)事務局より

- ・学校運営協議会の委員(丹後委員*新規)(委任状をお渡しする)
- ・学校運営協議会の目的など再確認

(2)会長より

- ・会長職、不在のため割愛

(3)校長より

- ・学校教育目標の実現に向けて「つながり」を大切に取り組んでいる
- ・50周年記念事業で航空写真を撮影。今後、ファイル等にしていく。
- ・児童は元気に過ごしている。

2.協議

(1)第1回議事録の確認(資料①)

- ・出席者全員一致で承認

(2)学校運営協議会設立に伴う各会の整理について(資料②)

教頭

- ・各会の整理が必要。協議をお願いします。
- ・学区協議会は、区長の集まりで、区長からの意見も必要であることから、区長懇談会として残す。
- ・地域教育推進連絡会は、地域学校協働本部とし、その組織の中で、放課後子ども教室や道南っ子祭りを開催していく。

藤本

- ・(学校運営協議会と地域学校協働本部の関係が)事件は現場で起きているような感じにならないか。

教頭

- ・地域学校協働本部に学校運営協議会のメンバーに入ってはどうか。

藤本

・本部に入っても日中動ける限られた人になるのか？

中島

・現在、個人的なネットワークで連絡を取り合っているので、本部があると嬉しいやすい。

田中

・地域学校協働本部はネットワークを作るというイメージで。必要に合わせて会議をしていく。

教頭

・中島さんを色々な団体につなげたいと考えている。

中島

・道南っ子祭りをするときは、だれがどうかかわるのか？総括する会議があれば。

藤本

・地域学校協働本部について、意識改革する必要がある。

教頭

・道南っ子まつり実行員会の第 1 回で、運営する内容が今後は道南っ子祭りのことだけでないことを伝えられたら。

中島

・婦人会、民生委員児童委員に仕事が偏っており、手がいっぱいと言われている。

教頭

・今年はそれを整理していく 1 年にしたい。

丹後

・確認ですが、学校運営協議会は、協議していく場で、学校を手伝っているという認識であってまずでしょうか。

藤本

・子どものアンケートがベースにあり、大切にしていく。

丸山

・道南っ子まつり、この体制の整理でうまくいく？

所長

・子どもたちを知っていただくために、協力していきたい。

木村

・生涯学習課として、地域学校協働推進員を、最大限支えていく。

・ネットワークを作っていく中で環境整備等を行っていきたい。

藤本

・道南っ子まつり実行委員会の名前を変えるのは有効。

教頭

・今年度は、道南っ子祭り実行委員会という名前で開催します。

園長

・ネットワークという考え方がわかりやすい。地域の皆さんに、新しい組織に力を貸してほしいというよりもよいのでは。快くみんな力を貸してもらえと思う。

中島

・民生委員児童委員の中でも思いもバラバラ。感謝の気持ちをもってもらう必要がある。必ずやってもらおうというスタンスではないほうが良い。

(3) 評価項目について (資料③)

教頭

- ・資料③をもとに、授業参観をしたのち、評価いただきたい。

校長

- ・数値に関しては、学校評価アンケートや他のアンケートから、本評価に必要な数値をピックアップしていきたい。
- ・子どもたちの実態として、自分から取り組むことに課題がある。先生からの指導やしなで育てていきたい。また、委員会活動の中でも取組みを進めたい。児童会活動でも、周年事業に関するテーマや取組みを児童から吸い上げていきたい。
- ・放課後子ども教室は約 300 人中 220 人の申し込みがあった。

(4) これまでの取組みの報告と今後の取組みについて

中島

- ・花壇の整備をしている。(じゃがいも収穫)
- ・放課後子ども教室の応援団が 15 人集まっている。
- ・授業補助をしている。(家庭科のミシン等)

(5) 今後の予定

- ・第1回 4月18日(火) 第4回 11月
- ・第2回 6月13日(火) 第5回 1月
- ・第3回 7月11日(火) 第6回 3月

3. おわりに・事務連絡

- ・次回の確認 令和5年7月11日(火) 18:00 ~20:00